

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 平成30年度 総会・事例報告会 報告書

1. 日時

平成30年6月7日（木）午後1時00分～午後4時30分

2. 場所

ホテルグリーンタワー幕張 4階「ロイヤルクレッセント」
(千葉県美浜区ひび野 2-10-3)

3. 概要

(1) 総会（午後1時00分～午後1時30分）

本会議の主催者である千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議大石会長（(公財)かずさDNA研究所 理事長）、及び共催者である千葉県商工労働部 吉田部長からのあいさつに続き、事務局から平成29年度事業報告、平成30年度事業計画の説明を行いました。



〔千葉県バイオ・ライフサイエンス・
ネットワーク会議 大石会長〕



(千葉県商工労働部 吉田部長)

(2) 事例報告会 (午後 1 時 30 分～午後 3 時 50 分)

①「網羅的ペプチドの解析に関する研究開発」

公益財団法人かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部

生体分子解析グループ グループ長 鈴木 秀幸 氏

かずさ DNA 研究所は、食品由来タンパク質の酵素分解物であるオリゴペプチド (2 から 20 個のアミノ酸からなるペプチド鎖) に関して、前処理・分析条件の最適化を検討し、1 分析で多くの情報 (アミノ酸組成、配列を含む) を得るために、メタボローム解析 (網羅的な成分解析) の応用開発を行ったので、網羅的ペプチドの解析をご紹介します。



②「新規機能性ペプチドの探索と腸-脳連関」

京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻食品生理機能学分野

准教授 大日向 耕作 氏

食品タンパク質の酵素分解物のメタボローム解析結果に基づき種々の新規機能性ペプチドを効率的に見出しています。特に、中分子ペプチドが腸-脳連関により経口投与で強力な生理活性 (抗うつ、食欲調節など) を示すことから機能性食品や医薬品のシーズとして応用が期待できることをご紹介します。



③「森永乳業における乳ペプチド開発」

森永乳業株式会社 研究本部 素材応用研究所

バイオプロセス開発グループ グループ長 越智 浩 氏

森永乳業は、乳たんぱく分解物（乳ペプチド）に関し、約50年間に亘る様々な基礎・応用研究、そして開発に取り組んできました。その乳ペプチドの多様な機能について、実用化の事例を含めてご紹介しました。



(3) 情報交換会（午後3時50分～午後4時30分）

講演の後は、講演内容への質問や名刺交換など、情報交換を行いました。